

○ 台風に備えて 資料調べ1

5年 組 名前 ()


【見つけよう】
夏から秋にかけて、日本には、台風が近づくようになり、上陸することもあります。台風
備えて、どのような情報が必要かを考えましょう。

- ・ **台風がどう動くかを知る必要がある。**
- ・ **台風が近づくと、天気はどう変わるかを知る必要がある。**

【資料調べ1】
気象情報を集めて、台風の動きや、台風が近づいた地いきの天気を調べよう。

【結果を書こう】
台風が近づいたときの雲画像やアメダスの情報を整理しましょう。

気象情報を時間の順にならべてみよう。



【はてな？】
問題 **台風は、どのように動くのだろうか。また、台風が近づくと、
天気はどのように変わるのだろうか。**

【結果から考えられることを書こう】

関係づけよう 雲画像やアメダスの情報と日本各地の天気を関係づけて、台風の動きや、台風が近づいた地いきの天気について考えましょう。

- ・ **台風は、南の方から北や東の方に動いていて、台風の動きにつれて、
雨のふる地いきが変わっている。**
- ・ **台風が近づいた地いきでは、大雨になり、強い風がふいている。**

【予想を書こう】 台風の動きや、台風と天気との関係について予想しましょう。

台風の動きについて
台風は、西から東へ動いてくると思う。

【結果からわかった問題の答えを書こう】
結局 台風は、日本付近では、北や東の方に動くことが多い。また、
台風が近づくと、大雨がふったり、強風がふいたりする。

(理由)
春のころに調べた雲と同じように動くと思うから。

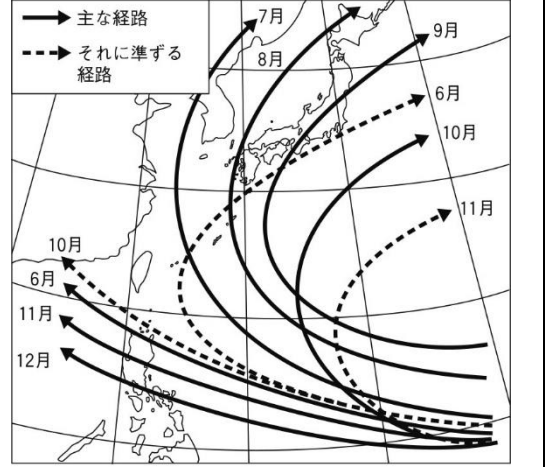
台風と天気との関係について
台風が近づくと、強い雨がふると思う。

【【広がる学び】】

(理由)
台風は、とても大きい雲のかたまりだから。

ふつう、台風は、日本のはるか南の海上で発生し、勢いを強めながら西や北の方へ動きます。そのあと、動く向きを北や東の方に変えて、各地に大雨や強風をもたらす、やがて勢いが弱くなっていきます。台風が通過したあとは、天気が晴れになることがよくあります。

6月から12月の台風の経路をまとめると、おおよそ右の図のようになります。



【資料調べの計画を書こう】 どのような気象情報をもとにして、自分の予想を確かめたらよいかを考えましょう。

〈方法〉

- ・ **台風が近づいたときの日本付近の雲画像を数日間集めて調べる。**
- ・ **台風の位置と、こう水量の情報をならべて調べる。**